

登録コード	TSX28600	開講年度	2026				
授業科目	都市環境設計学演習				担当教員	南 健斗	
英文授業名	Advanced Seminar in Urban Environmental Design				副担当		
単位数	4	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考	修士課程1年生	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【研究科共通】人類, 社会の平和的・持続的発展のために, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				建築における風工学の役割およびCFD解析の基礎理論を理解する。		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				建築における風工学の役割を理解し, CFD解析の理論に基づき計算を実施できるようになる。		
(2)授業の概要	風工学の基礎と実対象への応用を習得するために, 風工学に関する基礎理論, CFD (Computational Fluid Dynamics)解析の基礎理論, CFD解析を用いた計算を行う。基礎的な理論は演習問題で理解を深め, CFD解析ソフトを用いて実対象への応用を行う。なお, 講義はアクティブラーニング手法を交えて実施する。						
(3)授業計画	第01回 ガイダンス 第02回～第06回 風工学の基礎理論 第07回～第09回 風工学の基礎演習 第10回～第14回 CFD解析の基礎理論 第15回～第18回 CFD解析の基礎演習 第19回～第20回 演習結果報告会・ディスカッション 第21回～第26回 CFD解析ソフトの演習 第27回～第29回 解析結果報告会・ディスカッション 第30回 まとめ						
(4)成績評価の方法	演習結果報告会・ディスカッション(50%)および解析結果報告会・ディスカッション(50%)で評価する。90～100点を秀, 80～89点を優, 70～79点を良, 60～69点を可, 59点以下を不可として成績を評価する。レポートを提出して発表することで可を取る事ができる。						
(5)成績評価の基準	各課題に対して, 「問題の背景が説明できている」「問題設定ができている」「問題解決の方向性や定量化が示せている」の3項目で評価を行う。 3項目の合格水準を満たして, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。 3項目の合格水準を満たしていれば「かなり上にある」。 2項目の合格水準を満たしていれば「やや上にある」。 1項目の合格水準を満たしていれば「合格水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	1 単位当たり『45時間から授業時間を引いた時間量』の自主学習時間が課せられており, 授業内容の事後学習および授業中に指示した内容の事前学習すること。						
(7)履修上の注意	特になし。						
(8)質問,相談への対応	講義中, および講義の前後に随時受け付ける。 メールによる質問・相談はminami@shinshu-u.ac.jpに連絡すること。						
(9)その他	特になし。						
【教科書】	指定しない。必要に応じて資料を配布する。						
【参考書】	指定しない。必要に応じて資料を配布する。						